

男女共同参画センター

平成25年度「男女共同参画川柳コンテスト」の入賞作品が決定しました！

佐賀県立男女共同参画センター(アバンセ)及び佐賀県男女共同参画推進連携会議では、男女共同参画社会形成の推進をめざし、7月2日(火)から9月15日(日)まで、「男女共同参画川柳コンテスト」の作品を募集しました。

この募集に対して、111点の応募があり、9月27日(金)にアバンセにおいて審査会を実施し、厳正な審査の結果、以下の入賞作品が決定しました。今年もたくさんのご応募をいただきありがとうございました。

入賞作品は、アバンセや県庁県民ホールほか、県内各市町や県男女共同参画推進連携会議所属の企業及び団体等で順次展示を行いますので、ぜひお越しください。

※展示スケジュールの詳細は、[こちら](#)(134KB; PDFファイル)をご覧ください



最優秀賞

厚労省 次官抜てき 文句なし 檜枝 一夫さん(吉野ヶ里町)



優秀賞

介護する 骨太の手が あたたかい 秋山 茂子さん(小城市)

女市長 じぇじぇと言われぬ 世をつくる 稲富 雅子さん(佐賀市)

自治会の 予算決定 女性票 田代 和人さん(佐賀市)

育休の とれる我が社を 自慢する 江川 寿美枝さん(佐賀市)

リクエスト 夫のレシピ 一人勝ち 片倉 久江さん(佐賀市)

※入選作品については、[こちら](#)(118KB; PDFファイル)をご覧ください

最優秀賞受賞 檜枝一夫さんのコメント

テーマは男女共同参画と云うことで、丁度問題になった厚労省の女性が次官就任と知り、五七五にまとめた訳です。男女ではなく能力を見るべきですね。

審査委員長 菖蒲正明さん(佐賀番傘川柳会顧問)の講評

前年度より、家庭から視野を広げて、社会に目を向けた内容の句が多かった。形式面の五七五のリズムはよく守られていたが、下句の持つ役割から字余りの作品は避けたほうがよい。最優秀賞の作品は、今年7月、女性として16年ぶりに厚生労働省の事務次官に任命された村木厚子さんのことを詠んだ句である。川柳は口語表現が多いが、下句の「文句なし」が力強さの働きを果たしている。

[<<戻る](#)

[↑このページの上へ](#)

アバッセ

佐賀県立男女共同参画センター・佐賀県立生涯学習センター

〒840-0815

佐賀県佐賀市天神三丁目2-11(どんだんどの森内)

TEL:0952-26-0011 FAX:0952-25-5591

【指定管理者】[公益財団法人 佐賀県女性と生涯学習財団](#)

Copyright (C) 2011 Avance All rights reserved

開館時間

火曜～土曜日:8時30分～22時00分

日曜・祝日:8時30分～17時00分

(ホールは22時00分まで)

休館日

毎週月曜日(祝日も含む)

12月29日から翌年1月3日まで